

職員自らが深く考えて、納得感のある計画を策定するプロジェクトが始動。中期経営計画の実現に向けて、各職員がオーナーシップを持って取り組む機運を醸成。

協同組合島根県鐵工会				https://tekkokai.jp/	
本社所在地	松江市	出資金	48,610.4万円	事業概要	鉄鋼資材・機器の販売事業、教育研究事業など
代表者名	児玉泰州	従業員数	91名		
設立年	1938年	業種	卸売業	地域未来牽引企業	○

背景

- 過去に販売管理システムリプレースに取り組もうと、少なからずの委託費で業務分析を外部に委託し、リプレース費用を見積もってもらったが、リプレース効果を見出だせず、またその費用妥当性を判断することもできなかった。
- システムリプレースしないこととなり、その後も古い基幹システムを利用し続けているが、システムと現状の業務との間にもギャップが生じており、システムをリプレースしたい意向があった。
- 一方で、2021年1月より中期経営計画の実行期間が開始しているが、その実行におけるリーダーシップと管理が乏しく、計画と実際の現場業務との間に乖離が生じている状況であった。

計画の骨子

中期経営計画と実行計画の論理的整合性を確認

- ▶ 目指したい業務プロセスの姿を整理し、その目指したい姿を実現するための実行計画と中期経営計画とを論理的に結びつける作業を実施することで、組織として納得感のある計画を策定するプロジェクトを遂行（本事業終了後も継続的に遂行中）
- ▶ システムをリプレースする意義も改めて定義

職員の自発性を促進

- ▶ 計画策定作業には、管理職級以上が全員参画し、自発的な意識を醸成